

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		高野良	所 属		農学部 亜熱帯生物資源科学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.35	各講義の資料については、改善・改訂を進めるとともに、「有機化学」、「生体高分子化学」についてはこれまで通りWebClass、教員⇄学生を往復するカードを用いるなどにより、授業の双方向化につとめる。			0.40	各講義資料には改訂を加え、「有機化学」、「生体高分子化学」については、進度に影響があるものの演習のウェイトを高めた。学生による授業評価では、比較的高評価であったので、ある程度目標は達成できたと感じている。その他、今年度より全学科の3年次向けの「キャリアディベロップメント」の取りまとめを行った。また、4年次学生の卒業論文指導、修士の特別研究の指導を行い、さらに連合農学研究科の2名の留学生の主指導教員として学位取得を支援した。		
研究	0.30	卒業論文、特別研究に関連して、紅藻アケボノモズク、ミナミソゾ、カギケノリの多糖の構造の解明を行う。			0.20	海藻の多糖については論文の公表に至らなかったが、年度途中で指導に加わった酢酸菌の多糖については、一部の結果が農芸化学会大会で公表される予定である。		
社会貢献	0.05	専門分野である海藻等の多糖の化学について、団体等からの協力要請などに応える。			0.05	モズクの活用に関して「沖縄スーパーフード協会」の設立に立会い、理事の業務を行った。		
管理運営	0.30	学科長、副学部長とそれに関連する農学部および全学の各委員会の委員および就職センターの広報部門長としての職務を遂行する。			0.35	学科・学部では学科長、副学部長およびこれに関連する各委員会の委員として、全学では就職センター広報部門長として、大学の管理運営に携わった。		
	0.00				0.00			
計	1.00				1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	和田浩二		所 属	農学部 亜熱帯生物資源科学科	
職 名	教授				
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生支援	0.35	学部の担当科目(食品分析学、食品科学、食品機能科学実験Ⅰ、セミナーⅠ・Ⅱ等)では、これまでの研究成果も含めた実践的な授業を行う。大学院担当科目(食品分析学特論)では、プレゼンテーション技術の指導も取り入れる。また大学院生TAの有効活用を図る。食品関連の資格(食品衛生監視員及び食品衛生管理者任用資格、健康食品管理士受験資格)の取得や現状について学生に講義やセミナーを通して指導する。		0.35	学部担当科目はシラバスに沿った授業を行うとともに、食品分析学および食品科学の講義の中では、沖縄特産品である黒糖や特産柑橘であるシークワサーに関する研究成果を紹介し、より専門的な観点から講義を行った。食品機能科学実験Ⅰでも地域の特産品である泡盛を実験材料のひとつとして用いた。大学院の演習では文献セミナーとして、英語で作成したスライドによるプレゼンテーションを実施した。また大学院生3名を実験、セミナー、卒業論文のTAとして、教育補助に活用した。
研究	0.35	研究室所属の大学院学生、博士研究員および学外共同研究者と共に研究論文の採択を目指す。国際学会での発表ならびに関連学会の運営に協力する。外部資金を獲得し、関連試験研究機関及び企業との共同研究を行い、実社会にも応用できる技術の開発に努める。		0.35	研究室の学生、研究員および学外の共同研究者との研究成果が国際誌に2報、国内誌に1報掲載された。国際学会2件、国内学会・研究会で8件の発表を行った。また外部資金等としては民間企業との共同研究1件、沖縄県の試験研究機関との共同研究3件で、食品関連を中心に研究を実施した。
社会貢献	0.10	専門分野における学外委員会に参画する。これまでの共同研究の成果を講演会やセミナーなどで公表し、社会貢献を行う。		0.10	学外委員として沖縄県含みつ糖対策協議会、国内製糖工場廃棄物からの有価物製造技術開発検討委員会等に参画した。産業支援としては、平成27年度西日本食品産業創造展(マリンメッセ福岡)において「シークワサーの香りを探る」、学会では第26回生物試料分析科学会において「シークワサーの魅力～機能性と香り」、についてセミナーを行った。
管理運営	0.20	全学的には農学部評議員、全学教育委員、学部では農学部副学部長や各種委員としてそれぞれの組織の管理運営に参加する。		0.20	全学的には農学部評議員として、大学の組織の管理運営に携わった。学部では農学部副学部長、教育委員長および各種委員会委員として学部の管理運営にあたった。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		上地 俊徳		所 属		農学部 亜熱帯生物資源科学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生支援	0.60	担当の授業(学部:食品衛生学、免疫・臨床化学など、大学院:生物資源利用科学特論)や日々の交流などを介して大学生、院生にふさわしい知識や科学技術を教授し、将来において社会に役立つ人材育成に努める。講義では常に最新の科学情報をキャッチし、提供するべく努力を続ける。進学、就職を問わず、研究室に所属する学生の希望が達成できるように全面的に支援、協力する。特に就職活動が忙しい時期はそれに集中する環境を整えてあげられるようにしたい。学科4年次の指導教員としての職責も滞りなく進めたい。				0.60	改善すべき点はありますが、全体として目標はほぼ到達できたように思います。				
研究	0.30	卒論研究が活動の中心となる。現在外部資金(1件)を申請中である。学術論文の作成、投稿にも努めたい。				0.30	申請はしたものの外部資金を獲得できず、その点はマイナスであった。学術論文の執筆については、現在共著者として審査中のものがあり、目標はほぼ達成できたように思います。				
社会 貢献	0.05	沖縄県食品の安全安心推進計画懇話会の構成委員(委員長:上地)として、会の運営および県民の食生活の向上等に貢献する。任期:平成27年6月1日～平成29年5月31日				0.05	現在、任期が3期目となるが、今年度の目標は達成されたように思います。関連して、昨年県内の学校給食センター内で発生した調理担当者のノロウイルス感染事案で、沖縄タイムス新聞記者より意見を求められ、懇話会の取りまとめ役としての所見を述べた。				
管理 運営	0.05	農学部学術報告の編集委員(委員長)、図書館運営および図書館自己評価委員などの一員として、その円滑な運営等に努力する。				0.05	農学部学術報告第62号が予定通り発行される運びとなり、目標を達成できた。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		玉城 一		所 属		農学部 亜熱帯生物資源科学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生支援	0.25	学部教育では栄養生理学、栄養生化学、生物資源とサイエンス、亜熱帯生物資源科学実験、食品機能科学実験を、大学院修士課程では栄養生化学特論の講義を行う。鹿児島連大の構成員として学生の博士論文作成の補助を行う。				0.25	学部、大学院にて左記の授業を行い、鹿児島連大の業務も遂行した。				
研究	0.25	学生に対して研究指導を行い、学会発表、学術論文の書き方を指導するとともに学術誌への投稿を行う。また企業や地域の市町村との共同研究を行う。				0.25	2016年度日本農芸化学会にて2題の学会報告を行った。				
社会貢献	0.10	研究を通し、地域の発展に協力する。				0.10	地域の企業と協力し、野菜の化学分析を行った。				
管理運営	0.20	各種委員会活動に積極的に参加し、大学管理運営に寄与すべく努力する。				0.20	教育指導主任としての業務を遂行した。				
	0.20	学生の就職、進学相談に対して積極的に情報提供、アドバイスを行う。				0.20	学生の就職、進学相談に対して情報提供、アドバイスを行った。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>				1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		高良健作	所 属		農学部 亜熱帯生物資源科学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	昨年度の授業評価で「授業内容が難しい、スピードが速い」との感想があったため、「食品機能化学」の講義に使用するテキストを選定しなおし、シラバスを刷新して理解度の高い講義に努める。また「食品機能科学実験」では実験項目を見直し、幅広い分野が学べる実験とする。またフィールドセンタ島嶼農林科学部門都市域農業・緑地分野兼務教員としてフィールド実習では黒糖製造等を分担する。一方学生支援として進路・就職指導に努める。			0.30	学部の授業の「食品機能化学」ではこれまでのテキストを刷新して、より分かりやすい授業に努めた。「食品安全化学」は学生によるプレゼンを充実させ自主性を高めた。「食品機能科学実験」では実験項目を見直して学生に幅広い内容を体験させるよう内容を変更した。「フィールド実習」では収穫したサトウキビから黒糖や菓子を作り、収穫の喜びを実体験させ好評だった。		
研究	0.30	沖縄の地域野菜および果物を中心とする農産物における食品機能性に係る研究を進める。			0.35	沖縄県産食材についての食品機能として血圧上昇抑制効果および熱帯性食用マメの抗酸化活性、また黒糖の食品安全に関する研究を進めた。研究テーマの一部はやや停滞したところがあったが、概ね十分な成果が得られた。		
社会 貢献	0.20	昨年度に引き続き産学官連携に係る外部委員を務め、企業へのアドバイスなど積極的に行う。			0.20	2件の産学共同研究と、学外における産学官連携推進の委員を務めた。その他に鹿児島連合大学における産学連携プロジェクトを1件行い、充実した内容となった。		
管理 運営	0.20	全学安全衛生委員、全学学士教育プログラム委員、農学部教育委員、亜熱帯フィールド科学教育研究センター運営委員			0.15	目標に記載の各委員の他に、ハラスメント相談室および、ハラスメント調査委員を務めた。		
	0.00				0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		福田 雅一	所 属		農学部 亜熱帯生物資源科学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.35	学部担当科目として分子生物学、遺伝子工学、生物工学、外国文献購読Ⅱ、生物資源利用とサイエンス、農・食・環境概論、亜熱帯生物資源科学実験、生物機能開発学実験、卒業論文、セミナー等を担当する。大学院担当科目としては、修士課程の遺伝子工学特論等を担当する。			0.35	学部担当科目、分子生物学、遺伝子工学、生物工学、生物資源利用とサイエンス、農・食・環境概論、亜熱帯生物資源科学実験Ⅰ、生物機能開発学実験Ⅰ、外国文献購読Ⅱ、卒業論文、セミナー等の講義・指導を行った。大学院担当科目は、修士課程の遺伝子工学特論等の講義を行った。		
研究	0.35	修士大学院学生の修士論文指導、および学部学生の卒論指導を行い、卒業に十分な成果を出せるようにする。さらに、農芸化学会等において発表できるような研究成果も目指す。また、過去の研究成果を論文として出版できるようにする。			0.35	学部4年生の研究成果については、卒業論文発表会、修士2年の学生は修士論文発表会において成果を公表した。修士2年の学生は、3月に日本農芸化学会年会札幌大会において研究成果のポスター発表を行った。		
社会貢献	0.10	毎年行われるオープンキャンパスや体験アグリサイエンスなどに積極的に取り組み、高校生への研究紹介や実習の指導を行う。			0.10	7月に行われたオープンキャンパス・体験アグリサイエンスにおいて、高校生への研究紹介や実験の紹介・指導を行った。		
管理運営	0.10	遺伝子組み換え生物等使用安全委員会委員、予算委員会(委員長)、特別編入学による太平洋島嶼地域から留学生受入事業ワーキンググループなど全学、学部、学科、講座内の活動に参加していく。編入学試験、推薦入試、センター試験、2次試験等において入試業務に参加する。			0.10	遺伝子組み換え生物等使用安全委員会委員(兼安全主任者)、予算委員会(委員長)、特別編入学による太平洋島嶼地域から留学生受入事業ワーキンググループなど全学、学部、学科、講座内の活動に参加した。また、3年次編入学試験、センター試験、私費外国人入学生試験、大学院入試(1次及び2次)において入試業務に参加した。		
	0.10	卒業予定学生が単位不足などで卒業できないということがないように単位確認について指導行う。研究室の学部4年生の就職もなるべく希望通りになるよう支援・指導していく。			0.10	研究室の就職希望及び進学希望の学部生1名ずつはほぼ希望通りの進路に進むことができたが、卒業後公務員浪人をする学部生が1名でた。博士課程進学希望の修士2年は無事合格した。休学していた学部生2名は来年度より復帰する予定であるが、休学中だった修士2年の学生は期間満了により退学。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		小西 照子	所 属		農学部 亜熱帯生物資源科学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.40	学部及び大学院の講義を担当し、セミナーや卒業論文作成に向け、学生を指導する。また、学部内のセクハラ相談窓口を担当し、学生のケアに努める。			0.30	学部および大学院の講義を担当した。また、卒業論文の作成のために学生を指導した。2年次の指導教員として、2年次学生の学生生活の相談や進路相談に応じるなど、学生のケアに努めた。教職担当として教職履修の学生の指導を行った。		
研究	0.20	科研費などさまざまな外部資金の申請を行う。研究論文の採択を目指す。			0.20	研究費については学内競争的資金を獲得し、研究を行った。論文の採択には至らなかったが、「植物細胞壁実験法」の編著者として本を出版した。		
社会貢献	0.20	研究成果を地域産業活性化に利用できるよう、研究成果の顕在化に努める。			0.20	出願していた特許が認められ、特許の取得に至った。また、取得した特許に関する研究について沖縄県内企業と共同研究をスタートさせた。ジェンダー協働推進室主催の活動を通じて、学生への出前講義を行った。		
管理運営	0.20	全学の男女共同参画委員、ハラスメント防止対策委員、発明委員会委員などを務め、学部内では教育委員、教育実習委員など、委員会活動を通じ、積極的に大学運営に参加する。			0.30	全学のジェンダー協働推進室副室長、ハラスメント防止対策委員、発明委員会委員、ダイバーシティ推進室の委員を、さらに学部内では教育委員、教育実習委員などの委員を務め、積極的に大学運営に参加した。		
					0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>			1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		平良 東紀	所 属		農学部 亜熱帯生物資源科学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.25	学部科目(講義2科目, 実習3科目, 演習2科目), および大学院科目(講義1科目, 演習2科目)を担当する。特に, 学部2年次導入科目である生命科学の講義の予習・復習のために, 講義のスライドをe-learningのweb siteで学生が見られるようにする。講義の理解度を上げるために「ワークシート」を持ちいる。また, 講義に対する学生からの意見を取り入れるために「シャトル・カード」を用いる。			0.25	生命科学では, Web class (e-learningシステム)上に講義のスライドをいつでも学生が見られるようにすると同時に, 講義のより効率的な理解を進めるために, ワークシートを用いた。また, 講義に対する学生からの意見を取り入れられるよう「シャトル・カード」を用い, 授業の改善に努めた。		
研究	0.30	学部および大学院学生と共に研究を行い, 専門分野での学会発表を積極的に行い, 研究論文の採択を目指す。他研究機関との共同研究を行い, 高いレベルの研究論文の採択を目指す。泡盛やもろみ酢に関する研究で外部資金の獲得を目指す。			0.30	大学院修士課程の学生および他研究機関との共同研究の成果を学会で7件(国外1, 国内6)発表した。これらの成果の一部を国際誌(Biosci Biotechnol Biochem., IF=1.28; Planta, IF=3.63)に投稿し, 2件採択された。「養豚飼料におけるリジン及びアミラーゼの生産技術の検討」, 「もろみ酢の高付加価値化に向けた研究開発」に関する研究で企業と共同で公募研究に応募・採択され外部資金を獲得し, 成果を得た。		
社会貢献	0.25	中高生の部活動振興プログラム(科学技術振興機構主催)において昭和薬科大学附属高校の化学部の研究の指導・アドバイスを行う。また, 高等学校における出前講義等を行う。南方資源利用技術研究会の庶務幹事として, 会の運営を行う。			0.25	中高生の部活動振興プログラム(科学技術振興機構主催)において昭和薬科大学附属高校の化学部の研究の指導・アドバイスを行った。また, 沖縄県教育庁主催平成27年度進学カテゴリーアップ推進事業「ガクモンナビ・オキナワ」にて, 講師として高校性に向け講演「21世紀は生命科学で行こう!」を行った。南方資源利用技術研究会の庶務幹事として, 総会・特別講演会および研究発表会・特別講演会を開催した。		
管理運営	0.20	広報委員では, 広報委員長として農学部概要の編集, ウェブページの更新, オープンキャンパス企画・取りまとめ, 高校への出前学部説明会への参加等, 積極的に委員会活動を行う。			0.20	広報委員では, オープンキャンパス企画・取りまとめおよび農学部概要の編集・作成を中心となって行った。広報委員のウェブページ担当者として, ウェブページの更新等を行った。高校での出前学部説明会を分担で行った。		
	0.00							
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	